

●R5年度に協働推進事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
平群町	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	ボランティア活動をしていただいている方々が高齢化し、ボランティアのなり手が減少してきている。	ボランティア活動をしてくださる方を広報やHPで周知。また、見守りなどのお礼を回覧することで、ボランティア活動をしていることを周知する。	町内4小中学校(小3、中1)における地域ボランティアの確保(前年度数を最低限維持する)	R4年度ボランティア登録数を「100%」とした際の、R5年度の割合	100	%	100	100	4 今年度も、町内小・中学校において、環境整備や学校図書館蔵書の整備改善、登下校の見守り活動等、昨年度のほぼ同数の地域ボランティアの方々の支援をいただき、学校の安定した経営へとつなげることが出来た。
平群町	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	R4学力学習状況調査における、「家庭における計画的な学習の取組状況」が、本町の結果(64P)が全国(70P)に比べ6ポイント低い。	家庭学習の定着を図るために、各学校におけるICTタブレットを活用した家庭学習の取組改革を計画的に推進する。	R5年度の取組結果を全国結果並みにする。 ※70P以上を目指す。	R5年度結果と全国結果との比較。	64		70	75	4 今年度全国学力・学習状況調査における「家での計画的な学習への取組状況」に関して、「よくしている」ときどきしている」と回答した本町の子どもたちは、70.6%と、県66%を上回り、全国平均と同数であった。但し、まだまだ個人差が見られる事から、引き続き、各家庭に対しねばり強く理解・協力が得られる取組に努める。
平群町	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	「社会に開かれた教育課程」のねらいや意義が各学校教員に対し理解され改革する必要性に至っていない。	2030年度を見据えたSDGs(持続可能な開発目標の設定)の意義・必要性について研修機会を拡大し理解を深めるとともに、実際の推進方法の具現化を図る。	各学校におけるSDGsを軸にした教育課程の設定等の研修会を開催する。また、当内容に特化したワーキング部会を設置する。	町主催の研修会の開催回数及びワーキング部会の設置。	0	回	5	0	1 各学校においては、各教科や総合的な学習の時間を活用しSDGsに関する学習及び活動に取り組んでいる。今年度は夏季休業期間中に4年ぶりに「平群町子どもサミット」を復活し、「SDGs」をテーマに小中学校間の交流を深めつつSDGsの学習に取り組んだ。今年度は、地域の方々の交えての活動は実施できなかったが、当テーマに関する学校での学びは、継続すべき内容であることから、次年度以降への取組の在り方を検討する。